

=====

本メールマガジン[NEE Mail Magazine]は、経済教育ネットワークより Econ 会員（正会員）および Web 会員の皆様にお送りしております。

=====

◆◇

---

◆ NEE Mail Magazine 37 号 ◆

2012-2-1 ◆◇

日本列島は寒波到来中。寒い日々が続きます。この寒い中に入試のシーズンがはじまりました。センター試験では複雑化した仕組みに受験生も監督者もついてゆけず混乱しました。大学では、1月末から私立大学の入学試験がはじまり、国立大学入試と続きます。高校でも、地域によっては、推薦入試、一般入試と続く受験シーズンです。学校現場の忙しさがピークになる時期です。あっというまに去って行った一月でしたが、ネットワークでは、しっかり4月からの活動準備や夏の経済教室の準備がはじまっています。

そんななか今号では、本年1月の活動とこれからの予定などをお伝えします。

---

◆ 目次

---

【1】最新活動報告

1月の活動を報告します。

【2】イベントカレンダー

2月とそれ以降の活動予定をまとめて掲載します。夏休みの経済教室の日程が決まり、内容の検討がすすんでいます。

【3】授業のヒント

---

【1】最新活動報告

---

■東京部会 (No.45)を開催しました。

1月17日(火) 19:00~21:00 日本大学経済学部3号館13階会議室3、参加者15名で東京部会を開催しました。

篠原代表による活動報告、法と経済のアンケートは時間をかけて検討すること、八代尚宏『新自由主義の復権』に法と経済を考える事例がたくさん掲載されていることなどが報告されました。また、新井より夏の経済教室の内容検討案が提出され、講師の配当、講義内容などの検討が進みました。新井からは、入試問題分析の途中経過の報告もされました。筑波大学大学院の山崎先生から、修士論文で扱ったTPPをめぐる授業実践と生徒の変化の報告などがありました。

内容の紹介は下記の HP でご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo045report.pdf>

■経済教育ワークショップ in 名古屋を開催します。

本メルマガ配信と同時期になる可能性があります。以下のワークショップが実施される予定です。当日参加歓迎です。お時間のある名古屋地区の先生はご参加ください。

1月31日（火）13：30～ 名城大学名駅サテライト。（桜通りビル13階）

今回は、愛知県名瀬地区高等学校公民科研究会の定例研究会に協力するかたちで行い、篠原代表が国際経済の講義、新井が授業提案を行います。

参加方法などは名瀬地区高等学校公民科研究会事務局（名古屋市立緑高等学校：052-895-0461、坂上誠先生）にお問い合わせください。

また下記の HP でも案内が掲載されています。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/2012WS%20Nagoya.pdf>

■『経済セミナー』での連載が終了しました。

雑誌『経済セミナー』日本評論社、で掲載されていた「中学・高校の経済教育」のシリーズが完結しました。同誌 No.664号、2012、2・3月号。

最終の6回目は、三枝利多先生の「疑似体験で苦手意識をなくそう 中学校における経済教育(2)」です。雑誌の内容案内は以下の経済セミナーの HP でご確認ください。また、ぜひ手に取ってお読みください。

[http://www.nippy.co.jp/magazine/maga\\_keisemi.html](http://www.nippy.co.jp/magazine/maga_keisemi.html)

なお、連載内容は順次ニュースレターの形式でネットワーク HP にも掲載いたします。

---

## 【 2 】 イベントカレンダー

---

これからの主な予定を日程順に掲載します。また、確定した夏の経済教室の日程を掲載します。

■京都部会（No.12）を開催します

2月2日（木）19時00分～21時00分

場所：同志社大学 光塩館 2F 第二共同研究室

内容、参加方法は下記の HP でご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto012flyer.pdf>

■札幌部会（No.2）を開催します

2月4日（土）14時30分～17時00分

場所：キャリアバンク セミナールーム

経済教育の在り方、歴史と経済の関係などを参加者がディスカッションする形で進める予定です。篠原代表、猪瀬武則先生（弘前大学教育学部教授）が参加される予定です。内容、参加方法は下記の HP でご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo002flyer.pdf>

■東京部会（No.46）開催します

日時：2012年2月23日（木） 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部7号館13階会議室3

内容：夏の教室の内容最終確定、入試問題検討プロジェクトの報告などを予定しています。

内容、参加方法は下記 HP でご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo046flyer.pdf>

■大阪部会（No.27）を開催します

3月3日（土） 18時00分～20時00分

場所：A P 梅田大阪 大阪市北区曾根崎新地 2-3-21 a x ビル4階A会議室

内容：入試問題検討プロジェクト報告など。

内容、参加方法は下記 HP でご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka27flyer.pdf>

■経済教育ワークショップ宇都宮

3月24日（土）

場所：未定です。内容など確定次第 HP でお知らせいたします。

■夏の経済教室の日程が確定しました

5年目になる東京証券取引所との共催でおこなっている夏休み「先生のための経済教室」の日程が確定しました。（先月既報）

8月2日（木）広島会場、中学の先生向け

8月3日（金）広島会場、高等学校の先生向け  
広島会場は、未定です。

8月6日（月）大阪会場、中学の先生向け

8月7日（火）大阪会場、高等学校の先生向け  
大阪会場は、大阪国際会議場です。

8月8日（水）名古屋会場、中学の先生向け

8月9日（木）名古屋会場、高等学校の先生向け

名古屋会場は、ウインクあいち（昨年と同じ）です。

8月16日（木）東京会場、高等学校の先生向け

8月17日（金）同

東京会場は、東京証券取引所です。ただし、電力事情等によって変更の可能性があります。

8月20日（月）東京会場、中学の先生向け

8月21日（火）同

東京会場は、同じく東京証券取引所を予定しています。

内容は検討中です。教科書を読み解く、歴史や法などを経済から読み解く、講演、入試問題から経済を教える、実践交流会などを予定しています。テーマや講演者のご希望などがありましたら、ネットワーク（[contact@econ-edu.net](mailto:contact@econ-edu.net)）までお寄せください。

---

### 【 3 】 授業のヒント

---

「中学教科書の通読を」

今年の4月から新指導要領が中学で一斉にはじまります。当然教科書も変わります。ネットワーク参加の中学の先生は授業準備でしっかり通読するでしょうが、高校や大学の先生方もぜひ通読すると授業のヒントが得られるはずですが、ただ、中学教科書は無償配布の対象になっているために、簡単に手には入りません。でも、中学の先生に知り合いがいたら、一冊お借りしてぜひ通読をしてみてください。内容の変化にびっくりするはずですが。

地理では地誌が復活しました。歴史では、世界史も日本史との関連で多くが復活しました。それに加え、江戸時代以降の記述がぐんとボリュームが増えました。また、社会史的なエピソードも増えて読み物としても面白く読めるようになっています。公民は、冒頭の現代社会を見る目の「対立と合意」「効率と公正」の箇所は各社各様ですが、経済の箇所はかなり内容が高度になっていて、ある出版社のものは需要曲線と供給曲線に見開きページを割くなど、やはり内容が豊富になっています。

教科書を通読するなら、一日をかけて一冊全部を読み切ると、全体が見渡せるし、高校の先生の場合は、中学校でこんなことを学んできているのだという理解が進みます。夏の教室でも教科書を読み解くという講義があります。私たち一人一人が、それぞれ教科書を読み解き、その上で授業を組み立ててみる丁度いいチャンスが来たのではないのでしょうか。春休みには、中学教科書を通読してみませんか。

（新井）

---

### 【 4 】 編集後記（みみずのたはこと）

---

やはりなあという気分です。センター試験での地歴公民でのトラブルの報道を聞いた感

想です。とにかく、複雑で面倒くさい。当事者意識のない監督者の大学の先生方が間違えるのは当然であるとしても、受験生でも間違えるのは仕方がないと思わせる変更でした。またまた想定外という見解が出されましたが、そんなことは制度が「改悪」された時点でわかっていたはずです。また、新たに導入された「倫理+政経」に関しても、廃止をふくめて再検討するという報道もありました。始める前にやめる検討をするというのは、末期症状です。ある種どうしようもない袋小路に入試制度がはいってしまったと感じます。入試問題の質も問題ですが、制度設計をしっかりとしないとおさないと、知的劣化がすすむだけではないかと心配です。(新井)

=====

登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◆